

事は「私は道ばたの雑草。気取らずガラッパチという性分で…イヤ天性でやっていこう。」と、でも、そんな甘い思いが“北クラブの浜幸”と言うニックネームを頂戴した様に思います。しかしながら今は、高令者問題の委員長という大役が私を金縛り、北の浜幸が北の五十嵐川となるように努力している次第です。最後に、友達には百円の友と千円の友が居て、無理をして、自分を曲げて付き合っている後に残るのは、むなしい別れです。こんな所を考えて、これから北ロータリーと付き合っていきたいと思えます。つたない私の話を聞いて下さいまして感謝いたします。

ロータリーの知識

青少年の模範となろう

青少年奉仕プロジェクトは、世界中で、いろいろな方法で行われています。ほんの少し例を挙げただけでも、ロータリーは、ボーイ・スカウトとガール・スカウト隊、スポーツ・チーム、ハンディキャンプ、児童センター、レクリエーション活動、それに、もちろん、インターアクトとロータリーアクトを提唱しています。どの場合も、私たちがどう行動するかは、年長者を見て、学びます。このことにまさにふさわしいロータリーの標語があります：「各ローリアンは青少年の模範」。

フェロー・ロータリアン

フェローとは英語で主に男性の友人や仲間を指しますのでフェロー・ロータリアンと言うとき、ロータリアン全員が必ずしもフェローではないことを心に留めておいて下さい。少なくとも、米国では、そうなのです。1988年4月2日現在、米国の2,125クラブに、5,676人の女性会員がいます。

理解を深めるために

「ロータリーの目的は、社会的、宗教的、人種的に異なる人を集めることはありません。ロータリーは、社会的な地位、宗教的な信条、そして国籍を異にする実業家と、専門職業人を集めて、お互いにもっと知りあうようにし、その結果、彼らがさらに多くの共感と友好をもって助けあうようにするのです」。

…ポール・ハリス

ロータリーへの私の道より

国際奉仕はクラブ・レベルから

「個々のロータリアンが、ロータリーの国際奉仕の目標を遂行するとき、どういった行動をとれば、最も効果的でしょうか？それは、所属クラブを積極的に支援することです。クラブには、国際レベルで奉仕する機会も、アイディアもあります。これまで成果を上げてきたプログラムもあります」。

…ロータリアン必携

国際奉仕、第5巻

11月8日例会：卓話 済生会大野畑分院院長 伊藤慶夫先生

11月15日例会：吉田RC合同例会



三条北ロータリークラブ週報

PUT LIFE INTO ROTARY — YOUR LIFE

ロータリーに活力を—あなたの活力を

国際ロータリー会長 ロイス・アビー 第256地区ガバナー 櫻内悌三郎

例会日
1988. 11 . 1
累計 No 97
当年 No 18

会長／梨本清一

幹事／今井克義

SAA／米山忠俊

例会日／火曜日 PM12:30～1:30

例会場／三条ロイヤルホテル ☎34-8111

事務局／三条市西四日町3-15-34
ヒューマン・ハーバー内 ☎35-7160

行事：クラブフォーラム

出席：本日の出席 40名中33名

先週の出席率 40名中33名 82.50%

先週のメークアップ：10月27日 燕RCへ 山崎 勲君

10月28日 新津中央RCへ 山上茂夫君

10月30日 妙高高原RC（25周年）へ 樋口金占君 平松利朗君
梨本清一君

10月31日 三条南RCへ 山上茂夫君 大野新吉君 高橋彰雄君

皆出席表彰：五十嵐英雄君 入会昭和62年10月第1週より1年間

ビジター：三条RCより 榎本 勝君 吉田 晃君 渋谷健一君 五十嵐昭一君
三条南RCより 橋本和雄君 田中正佐久君

会長挨拶：梨本会長

先週の日曜日は、十日町北RCの20周年、そして今週の日曜日は妙高々原RCの25周年でありました。十日町北RCの方は今井幹事はじめ、6名の方から行って載きました。妙高々原RCの方は樋口直前会長と平松副会長、私と三人で参加致しました。妙高の山々は丁度紅葉がはじまりつつありました。ところが全国的なあの急激な冷え込みで雪に見舞われまして、本来なら誇らし気に綿絵を見せびらかすといったところなのでしょうが、あの日ばかりは山の木々が打ち震えながら肩を寄せ合っている様な風情でした。さて、式典の方ではありますが、私はよその25周年を拝見しながら、我が三条北RCの25年先に思いを馳せておりました。妙高々原のチャーターメンバーは現在7名だけだそうありますが、我がクラブは地区内で一番若いクラブでありますから、それでも半分以上の20名位は残っているだろうか？初代中條、二代樋口、三代梨本、四代平松君あたりはまづちょっと無理だろう？もしもそのうちの誰れかが残っていたとしたら稲田君あたりに「先輩、早くお止めになったら如何がですか」なんて言われるんじゃないでしょうか。妙高々原の町長さんが出ていら

っしゃって、やおら内懐から原稿を取り出されまして祝辞を述べておられました。「妙高々原RCはこの25年間すこぶる順調に発展を遂げて参られました」何もご存知ないということは強いものです。私は配布されました印刷物を見まして、冗談じゃない、25年間の舞台裏は悪戦苦闘の日々であつたろうと推察を致しました。まづ、10年ほどの間に二人の人が二回会長職を務めておいでなんです。前会長を再び会長職にもってきざる得なかった年度は、様々なご苦勞のあつた年だと想像出来ます。それに会員数、現在32名、これは大変なことです。それにひきかえ、幸いにも当クラブは入会予定者が18名もあり、今後が楽しみです。20年後、25年後を目指しお互い尊敬し合い、信頼し合う仲の良いクラブづくりを今から一つひとつ積み重ね、つくり上げてゆきたいものです。

幹事報告： 今井幹事

◇RI中央事務局よりロータリーレート変更のお知らせ

現行133円→1 \$ 127円

◇椋内ガバナーより地区年次大会参加礼状が届いております。

◇12月13日ガバナー公式訪問時の現況報告書記載原稿の一部が出来ました。それぞれの内容をご覧になって間違いがないか確認してください。又原稿未提出の委員長は至急提出して下さい。

◇11月8日の夜例会は6時30分からです。ご夫人も同じ時間においで下さい。

◇入会予定者19名のうちスポンサーより取消し申出が1件ありましたので18名になります。又職業分類が重複しないよう担当委員会は充分検討して下さい。

スポンサーの方は今日から行動して下さい。必要があれば会長幹事もお手伝い致します。

誕 生 日：	11月10日 稲田憲治君	11月9日 佐藤美智子さん
	11月10日 粉川昭蔵君	11月16日 落合千鶴子さん
	11月18日 佐藤義英君	11月18日 堀川美智子さん

ニコニコBOX：

梨本清一君 妙高々原RC25周年記念式に行つて参りました。樋口直前会長から往復の運転をして載き、ありがとうございました。

粉川昭蔵君 今月の10日は私の誕生日ですが昭和3年の11月10日は今上（きんじょう）天皇の御即位式が行なわれました。

落合益夫君 11月4日(金)～6日(日)まで新潟市産業振興センターでの'88エレクトロニカ新潟に当社もソフトを出品しますので皆様もぜひご覧になって下さい。

笹原勝治君 欠席が続き申し訳ありません。元気に動きまわっております。

瀧岡茂君 10月31日で決算棚卸も終了しました。今日から幣社は新年度となり新たな気持ちで頑張りたいと思います。宜しくお願いします。

米山奨学：

芦田義重君 今日社用で早退させて載きます。そのお詫びに米山奨学へ一口。

樋口金占君 妙高RCの25周年で「10月の雪見」をして参りました。帰りに「湯沢」のおまけ平松利朗君 っきました。

ク ラ ブ フ ォ ー ラ ム

読書週間について： 笹原勝治君



10月27日から11月9日まで第42回読書週間という事で各種の行事が開催される。今年の標語は「昔を読む今を読む未来を読む」で、読書運動が全国的にくりひろげられる。週間初日の朝日新聞社説に「本を買う側の3つのなぜ」が載っていた。その第1は、広告を見て出かけてもめあての本が置いてない。その2は本を注文すると2、3週間かかる。その3、書店に商品の知識がなさすぎる。この背景としては①1年間の新刊書発行は1万7千点、市場には40万点があふれている。

②全国の書店が2万5千店、大多数が売場60㎡前後の小規模店であること。③再版価格維持制度による定価販売。④30%40%ともいわれる返品が論旨であったが、傾聴に値する。若干時間があるので、読書論についてふれさせて貰うが、小泉信三氏は「本を読んでものを考えた人と、まったく読書をしない人とは明らかに顔が違う」と言っていたが、ではどのような読み方があるかは、作家で銀行員の山田智彦氏は「右脳職激読書法」というものを考案した。第1冊目に詩や哲学、文明論。第2冊目に経済学。第3冊目に文学。第4冊目にエンターティメントを選んでこの順に読んでいくことを書いている。おいそが氏はこれらのジャンルの本を同時進行で読むのもいいではないか。また読書にあてる時間だが評論家の内村剛介氏は20分以上は本を読まない。それ以上読むと集中がなくなると言っていたが、1時間2時間集中するのは読書ではないようだ。最後に石貞学として知られる吉田東伍博士は「学者たるには、書を読むことよりカタログを読みこなすことが必要だね。図書館の目録を縦横にマスターする人は、すでに一流の学者だね」と語っているが、意味深い読書論だと思います。

北クラブ入会1周年に思う： 五十嵐英雄



本日は北クラブ入会1年の記念として、賞をいただきましてありがとうございます。本人よく考えた所、賞と名の付くものは生まれて初めての様に思います。いや2回目かな？1回目は、東京板金機械卸商協同組合でのノルマ達成時、そして今回で2回目。1回目も2回目も同じ様なものですが、その積み重ねを大事にして行きたいと思います。思うに賞をいただくという事は大変な努力が必要だと思います。早いもので北クラブ入会の誘いから1年、最初は、ロータリーとは一体どんな事をし、どんな人達が居るのか、今流行のいじめに会ったらどうしようと半分イヤイヤ半分興味シンシンで入会させていただきました。そこで自分なりに思った